

Tokyo NEXT 5G

Tokyo NEXT 5G Boosters Project

令和5年度次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業

開発プロモーター公募説明会

本説明会でお伝えする事項

01	事業概要	P.2
02	事業スケジュール	P.7
03	開発プロモーターの役割・事業者像	P.9
04	KPI評価・協定金について	P.13
05	応募方法・審査について	P.17
06	想定されるお問い合わせ	P.24

01

事業概要

本事業は、これまでのTokyo 5G Boosters Projectや国のBeyond 5G への取組を受けて、次世代通信技術を活用した新たなビジネスやイノベーションを創出することを目的とします

本事業の背景・目的

背景

東京都の動き

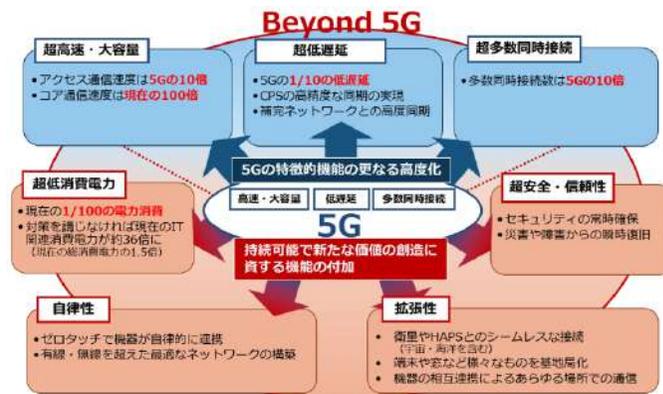
「未来の東京」戦略に基づき、5G技術を活用した持続可能な新しい社会の実現を目指し、スタートアップ企業等によるイノベーションの創出や新たなビジネスの確立を促進するため、令和2年度から5G技術活用型開発等促進事業（Tokyo 5G Boosters Project）を実施

国の動き

「Beyond 5G 推進戦略」等に基づき、各国で導入が進みつつある5Gの次の世代であり、超高速・大容量、超低遅延、超多数同時接続、自律性、拡張性、超安全・信頼性、超低消費電力を実現したBeyond 5Gの実現に向けて、研究開発等が進められる

事業目的

都内スタートアップ企業が、都心部から郊外・山間部、離島を持つ東京というフィールドを活かしながら、世界で通用する競争力を磨き、5Gをはじめとした次世代通信技術を活用した新たなビジネスやイノベーションを創出し、都民のQOL向上に寄与する有益なサービスを創出するとともに、各スタートアップ企業の企業価値向上を目指します



図：Beyond 5G に求められる機能（出典：総務省「Beyond 5G推進戦略 -6Gへのロードマップ-」令和2年6月公表）

Tokyo NEXT 5G

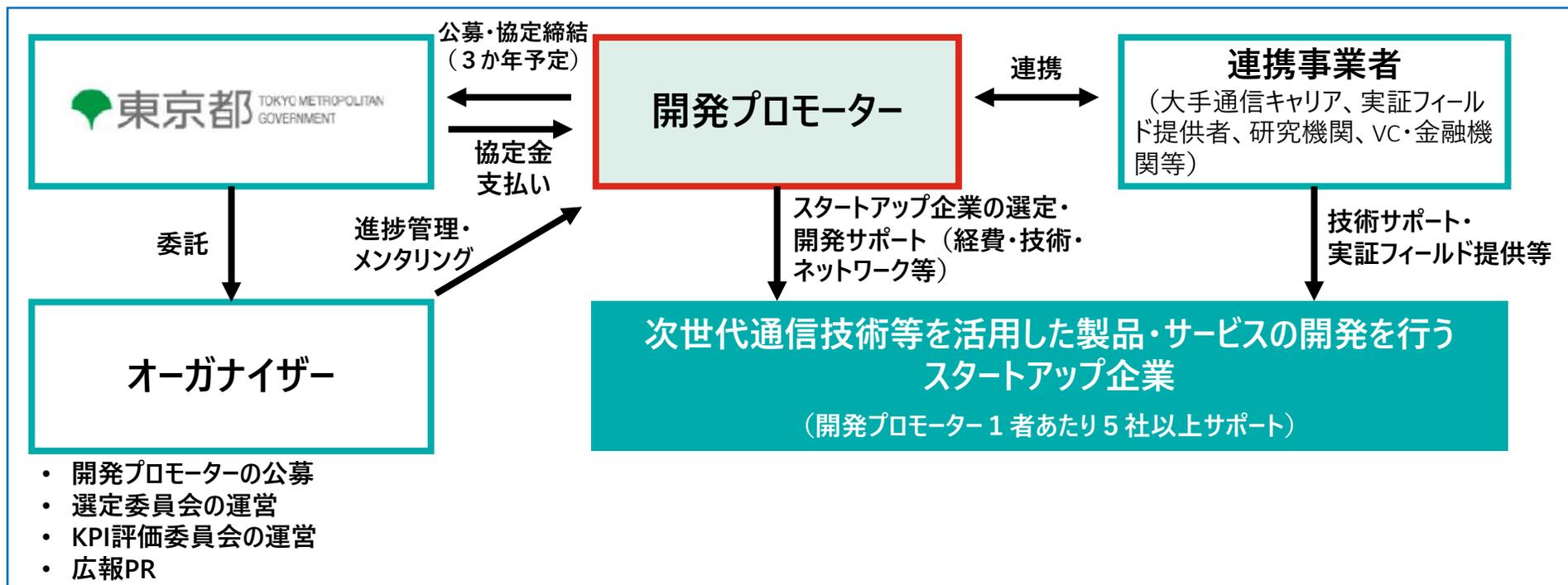
Tokyo NEXT 5G Boosters Project

東京都と協働してスタートアップ支援を行う「開発プロモーター」を公募・選定し、次世代通信技術等を活用した技術・事業開発を目指すスタートアップ企業を支援していただきます

事業概要

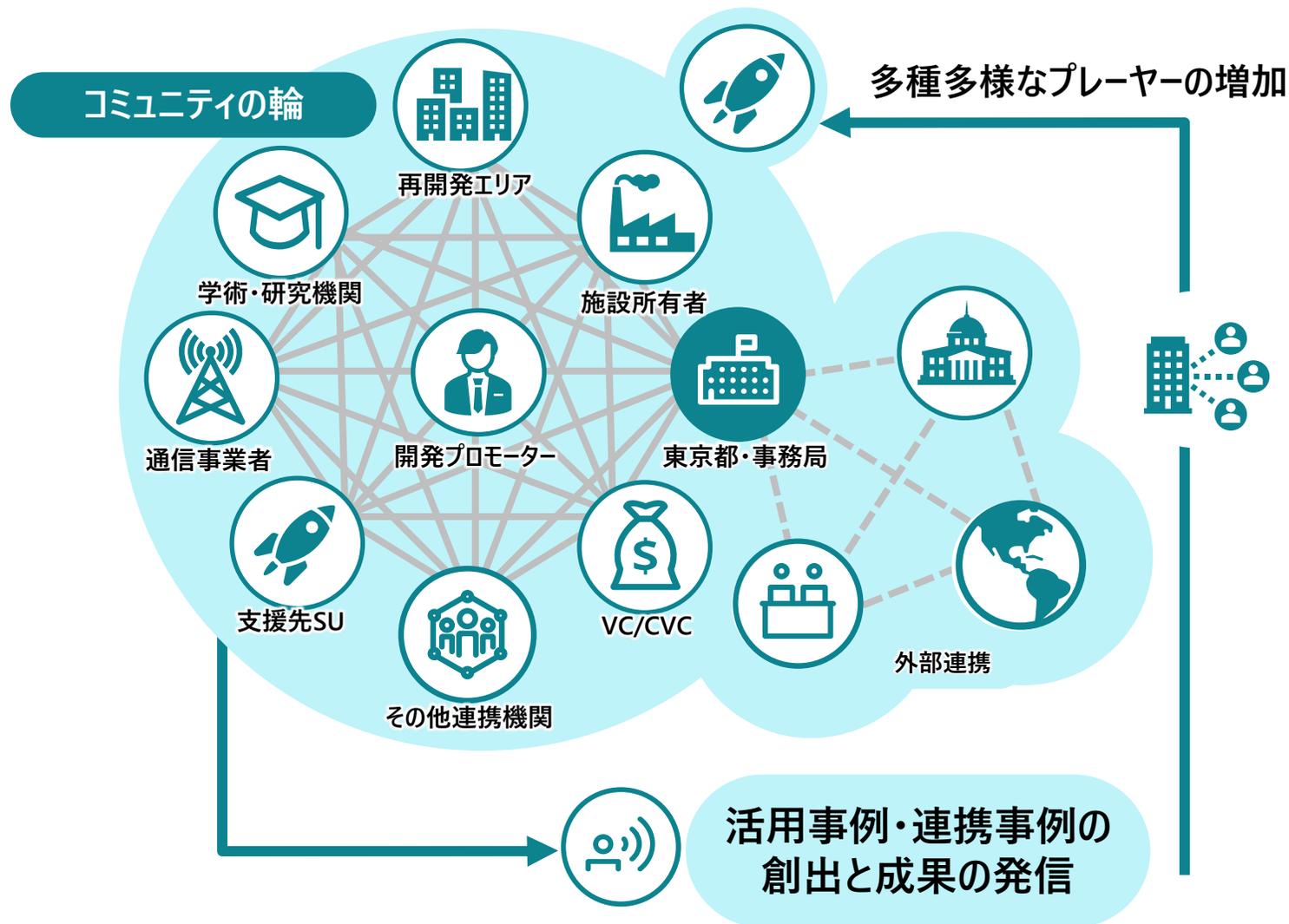
- 東京都と協働してスタートアップ支援を行う民間事業者（[開発プロモーター](#)）を公募・選定
- 選定された開発プロモーターは、[5G及び次世代通信技術を活用した技術・事業開発](#)を目指すスタートアップ企業に対し、多角的な支援を実施
- 開発プロモーター 1 社あたり、5 社以上のスタートアップ企業等を原則 3 か年度にわたりサポートし、[事業上市](#)を目指す

▼ 事業スキーム



本事業の取り組みを通じて、次世代通信技術を用いた革新的なビジネス・イノベーションが継続的に量産される環境（エコシステム）を構築することを目指しています

本事業で目指すエコシステム構築のイメージ



本事業では、「事業期間」「協定方式」「KPI評価」の3つの特徴を活かして、開発プロモーター・スタートアップの新しいビジネス開発を促進を目指しています

本事業の特徴

事業期間



- 3か年度の事業設計が可能
- 事業推進に必要なステークホルダーとの十分な調整のほか、事業期間中のトライアンドエラーを見越した計画策定がしやすい

協定方式



- 協定に基づく事業運営（従来の仕様書に基づく委託形式と異なる方式）
- 開発プロモーターやスタートアップが主体的に市場実態に合わせた柔軟な事業展開ができる

KPI評価



- 協定金支払額は、開発プロモーター自身が設定したKPI・事業成果と連動
- 事業者のモチベーションになるとともに、より大きな成果につながることを期待

02 事業スケジュール

本年度後半から採択された開発プロモーターによるプロジェクトが開始し、年度末には取組に対する評価委員会を実施するスケジュールで進行します

本事業の全体スケジュール（予定）



※スケジュールは変更する可能性があります

03 開発プロモーターの 役割・事業者像

本事業を効果的・効率的に推進する素養を兼ね備えた開発プロモーターを求めています
(応募時点で必ずしも、すべての素養を備えていることを求めるものではありません)

求める開発プロモーター像

外部事業者との連携姿勢



技術理解力



ビジョン構築力



アクセラレーション力



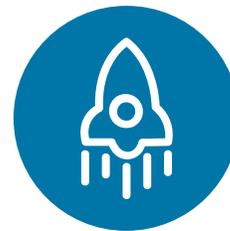
発信力



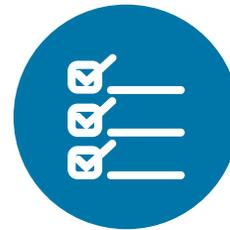
スタートアップ支援実績



プロジェクト推進力



マネジメント力



実証フィールド



開発プロモーターには、大きくは「スタートアップ企業の選定」「スタートアップ企業への支援」「事業進捗及びKPIの報告」という3つの役割を果たしていただきます

開発プロモーターの役割



スタートアップ企業の選定

5G技術及び次世代通信技術を活用した製品・サービスの開発を行うスタートアップ企業を支援先として選定



スタートアップ企業への支援

採択期間の3か年度終了時点での事業上市及び企業価値向上を目標に支援

- ①技術面でのサポート
- ②資金面でのサポート
- ③ネットワーク面でのサポート

(具体的な支援内容はご提案によります)



事業進捗及びKPIの報告

事業計画に基づき、半期に1度（初年度は年度末のみ）、当該事業期間の事業報告及びKPIの達成状況について、根拠書類とともに東京都に報告

令和2年度から開始した先行事業であるTokyo 5G Boosters Projectでは、業種の異なる開発プロモーターによる自社の強みを活かした取組を通じて、一定の成果を収めています

先行事業「Tokyo 5G Boosters Project」：令和2年度採択開発プロモーターの状況



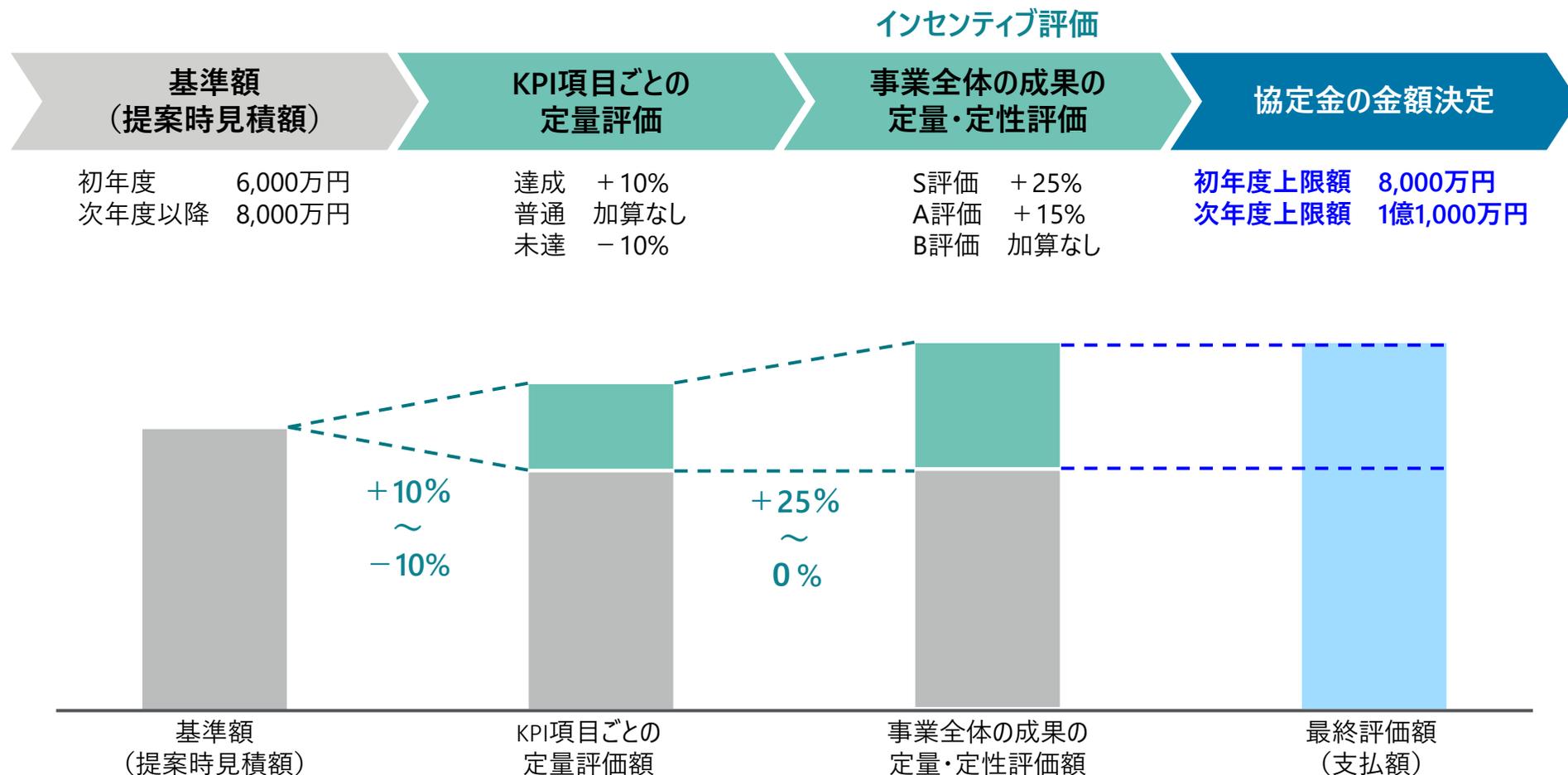
**初年度採択開発プロモーター3社による3か年の取組により
計12社のスタートアップが5Gを活用した製品・サービスを上市**

（令和5年3月報告時点）

04 KPI評価・ 協定金について

KPI項目ごとの定量評価と、事業全体の成果に紐づくインセンティブ評価の2段階で評価のうえ、協定金の金額を決定します

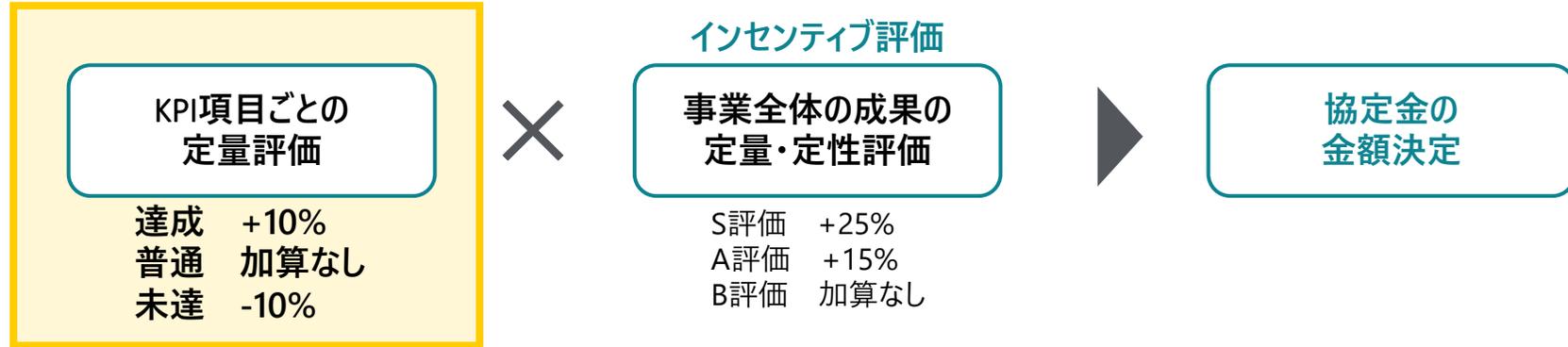
協定金の算出方法



詳細は、(別紙1) 協定金支払いに係る評価方法及びKPIの説明要旨p.2をご確認ください

KPI項目ごとの定量評価では、各開発プロモーター自身で設定した目標値（必須項目・任意項目）の達成状況に応じて評価が確定します

協定金額の算出イメージ（1/2）



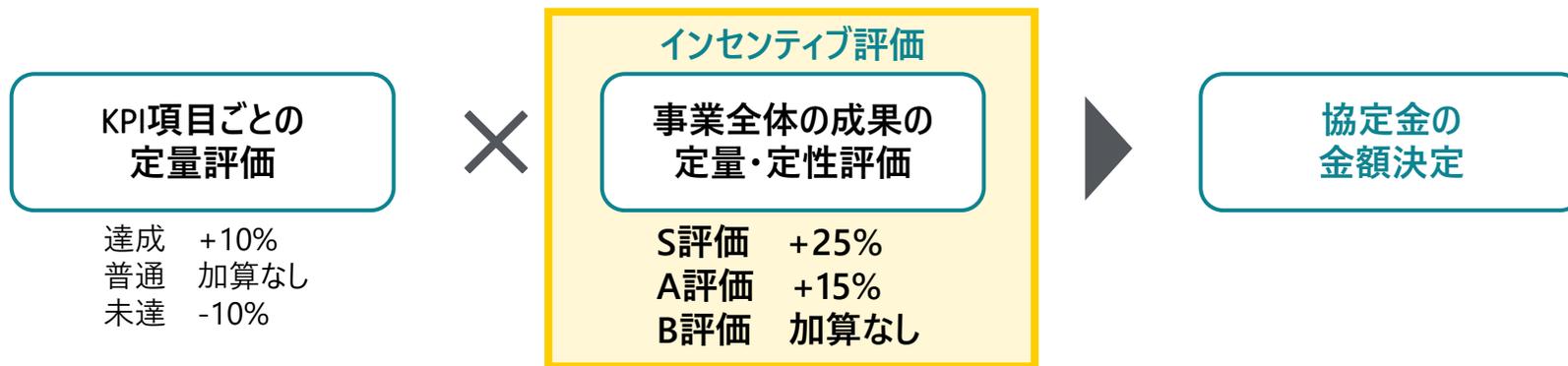
KPI項目（必須項目）	数値目標
① 支援するスタートアップ企業数	5社以上 ／3か年度
② 実証実験機会の提供	1回以上 ／年度
③ 開発プロモーターが事業推進上必要となる連携事業者とのパートナーシップ構築	1者以上 ／3か年度
④ メンタリングの実施（技術助言含）	2回以上 ／1社あたり月

KPI項目（任意項目）
① スタートアップへの資金提供 本事業を通じてスタートアップにどの程度、資金等を提供したか
② 座組の充実 支援先のスタートアップと外部の事業者を巻き込んだ取組を行っているか
③ 事業創出の取組 スタートアップのビジネスチャンスの拡充等、事業を加速度的に成長させるような支援を行っているか
④ その他 (定量的に評価可能な項目を申請者が自由に設定)

詳細は、（別紙1）協定金支払いに係る評価方法及びKPIの説明要旨p.4-6をご確認ください

事業全体の成果に係る評価（インセンティブ評価）については、各プロモーターの成果に対して評価委員会にて各着眼点から評価を行い、3段階で評価を決定します

協定金額の算出イメージ（2/2）



社会

取組による社会的インパクトや社会課題解決の観点

エコシステム形成
持続的に
イノベーションを
創出する

ビジネス

新たな事業創出への寄与の観点

普及

認知度向上や事業の汎用性・拡張性の観点

詳細は、（別紙1）協定金支払いに係る評価方法及びKPIの説明要旨p.7をご確認ください

05 応募方法・ 審査について

①～④の要件を満たす民間事業者を開発プロモーターとしての応募対象とします

応募要件

1

日本国内に法人格を有し、次のいずれかに該当すること

- A) 株式会社、持分会社（合名会社、合資会社、合同会社）、監査法人、弁護士法人等のいわゆる士業に係る営利法人
- B) 特定非営利活動法人、一般財団法人、一般社団法人
- C) その他東京都が認める者

2

次のいずれにも該当していないこと

- A) 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者
- B) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者

3

連携事業者（通信事業者や実証フィールド提供者、研究機関、VC・金融機関等）とのリレーションを有していること

4

機密情報の取扱いについて、適切な手段・方法で保護できる体制を有していること

支援先スタートアップ企業の選定に当たっては、いくつかの要件が設けられていますので、選定前にご確認をお願いします

スタートアップの選定要件

区分	要件
必須要件	<ul style="list-style-type: none">● <u>東京都内に事業所を有しているスタートアップ企業</u>、または<u>今後都内に事業所を開設する予定がある者</u>● 中小企業基本法における<u>中小企業者の定義に該当</u>していること● 公序良俗に反しない事業及び企業体であること 等
任意要件	<ul style="list-style-type: none">● <u>提案内容の実現において、適当な事業体</u>であり、かつ<u>必要な技術・ノウハウ等を有しているか</u>● 円滑かつ効果的な事業遂行のために、<u>十分な人員配置が確保</u>できているか、<u>開発プロモーター等との有効な連携体制等を確保</u>できているか● 本事業の趣旨を理解し<u>5G技術及び次世代通信技術を活用した新たなビジネスやイノベーションの創出に対し意欲的</u>かつ<u>採択期間3か年にわたり継続的に事業遂行</u>に努める姿勢を示しているか

協働による社会的課題の解決に向けて、5 G技術・次世代通信技術を活用した新しい産業、ビジネスの創出につながるスタートアップ企業の取組が生まれるような提案を募集します

募集テーマ

次世代通信



暮らす



労働

交通
・物流

防災
・防犯

建設
・土木

農業
・環境

次世代通信



楽しむ



エンタメ

スポーツ

観光

ファッション

次世代通信



健康



医療

健康

福祉

介護

※上記は例であり、提案いただくテーマ・分野の内容やその組み合わせを限定するものではありません

本事業への応募を希望される事業者には、本事業Webサイトよりダウンロードする様式を含め、必要な応募書類をご準備いただきます

応募に際して必要な書類

◆・・・本事業Webサイトより様式をダウンロードする書類

No	書類	提出形式
1	企画書	PDF
2	応募フォーム ◆	Excel
3	様式1 KPI設定説明書 ◆	Excel
4	様式2 スタートアップ企業の概要に関する書類（注1） ◆	Excel
5	スタートアップ企業への支援実績を示す書類	PDF
6	定款・寄付行為又はこれらに類するもの	PDF
7	登記事項証明書（履歴事項全部証明書）の類（写）	PDF
8	直近2期の財務諸表（B/S、P/L、CF計算書） ※税務署に提出した決算報告書一式	PDF
9	株主名簿等、株主構成のわかる書類	PDF

注1：

支援するスタートアップ企業が確定している場合は、支援対象のスタートアップ企業に関する書類（主な株主の情報、所在地等が分かる会社概要）を様式2により提出してください。応募時点で支援するスタートアップ企業が確定していない場合は、確定時点で書類を提出していただきます。

審査に当たっては、11項目の審査基準の観点から総合的に評価を行います

審査基準

1	基礎情報 <ul style="list-style-type: none">● 事業内容、株主情報、財務情報
2	ビジョン <ul style="list-style-type: none">● 提案内容の独自性、魅力、都・都民への効果 等
3	実施計画 <ul style="list-style-type: none">● 実施計画の現実性、実行可能性 等
4	KPI項目及び事業目標設定の妥当性 <ul style="list-style-type: none">● 本事業の実施方針に資する KPI 及び事業目標が設定されているか 等
5	実施体制 <ul style="list-style-type: none">● 自社や連携事業者が有する技術、実証フィールド等を活かした、スタートアップ企業支援体制を構築しているか 等
6	アクセラレーション力 <ul style="list-style-type: none">● スタートアップ企業に対する技術開発、アクセラレーションもしくはオープン イノベーション推進における十分なノウハウを有しているか 等

7	技術理解力 <ul style="list-style-type: none">● 5 G 技術及び次世代通信技術に係る技術開発に関する知識、ノウハウを有しているか 等
8	推進力・巻き込み力 <ul style="list-style-type: none">● スタートアップ企業や連携事業者等の事業関係者を広く巻き込み、プロジェクトを推進する力を有しているか 等
9	発信力 <ul style="list-style-type: none">● ブランディング戦略の策定・実行が可能か 等
10	本事業目的への適合性 <ul style="list-style-type: none">● 公的支援を受けるに相応しい本事業目的の実現に資する事業内容であるか 等
11	スタートアップ企業への支援実績 <ul style="list-style-type: none">● スタートアップ 企業 の支援実績を有しているか

審査は、書類審査及びプレゼンテーション審査の二段階で行います

募集・審査の流れ（予定）



06 想定される お問い合わせ

予め事務局内で想定した質問については回答を準備いたしましたが、そのほかのご不明点等は説明会後にメールにてお問合せください

想定されるお問合せ（開発プロモーター像について）

Q：採択する開発プロモーター像として、特定の業界・業種・企業等を想定しているのでしょうか

A：公募に際して特定の業界・業種・企業等は想定していません

Q：事業実施期間中に、開発プロモーター間の情報交換は実施できますか

A：東京都・事務局企画の開発プロモーターや参画しているスタートアップ間の交流会を開催する予定です
また、事業推進に当たって、開発プロモーター同士での積極的な連携も推奨しております

予め事務局内で想定した質問については回答を準備いたしましたが、そのほかのご不明点等は説明会後にメールにてお問合せください

想定されるお問合せ（スタートアップ企業の選定について）

Q：応募段階で支援するスタートアップ企業は決まっている必要があるのでしょうか

A：応募段階で支援するスタートアップ企業が決定している必要はありませんが、応募事業のKPIとして支援を予定しているスタートアップのおおよその企業数をご提示いただく必要があります

また、採択期間3ヶ年度終了時点で5社以上のスタートアップ企業への支援実績が求められます。なお、本事業においてスタートアップ企業が支援を受けられる期間は、開発プロモーターの交代の有無を問わず、通算3事業年度を限度とします

Q：支援するスタートアップ企業が他の自治体主催プログラム等に既に参加している場合、本事業に参加することはできるのでしょうか

A：スタートアップ企業及び開発プロモーターにて、参画している他のプログラムや他の助成金の目的や用途が明確に区別・提示されていれば、特段の制約等はありません

予め事務局内で想定した質問については回答を準備いたしましたが、そのほかのご不明点等は説明会後にメールにてお問合せください

想定されるお問合せ（KPI・協定金について）

Q：東京都から支給される協定金を、スタートアップ企業への支援金に充てる事は可能でしょうか

A：協定金の一部を資金援助としてスタートアップ企業へ提供することは、積極的に推奨しております。また、KPI評価においても、資金面での支援は重要な評価指標となっております

一方で、必ずしもスタートアップ企業へ直接的に資金提供する必要はなく、外部からの資金調達の支援等、間接的な資金提供でもかまいません。また、協定金は事後払いとなりますのでご注意ください

Q：支援するスタートアップ、連携企業、およびプロモーターの本件遂行に欠かせない人件費、外注費、システム利用料・開発費等についても協定金による補填対象と理解して宜しいでしょうか。

A：ご認識のとおりです

ただし、協定金は事業推進に係る実費を負担するものではなく、基準額を基にKPI評価に応じた成果報酬としてお支払いするものです

◆本事業に関するご質問等は、以下のメールアドレス宛までにお問合せください

◆後日事務局よりご回答差し上げます

【事務局】

受託：有限責任監査法人トーマツ ガバメント&パブリックサービシーズ

E-mail：next-tokyo5gboosters_office@tohmatu.co.jp

皆様の本事業へのご応募を心よりお待ちしております